



165人が出席 晴れやかに「成人式」

町教委の主催で開かれた「成人式」。今年の対象者は男139人・女140人の計279人で、この内、男88人・女77人の計165人が出席。式では、泉亭町長が「昨年よりも成人者が多いのは喜ばしいこと。IT化が急展している中、当別でも新しいベンチャー産業を起こすことができる若者がいると信じている。今後の活躍を期待しているので、どうぞ頑張ってください」などと激励しました。また、成人者を代表し、山下雄平くん（元町）と宮本理恵さん（若葉）の2人が「幾つになっても高い志を持ち続けられるように努め、人への思いやりや相手を気遣う気持ちを持てるような大人を目指します」と誓いの挨拶を述べました。このあと、記念パーティーをしながらビンゴゲームを実施。今年は、商工会と北石狩農協のほか、スタンドグラス・トールペイントのサークルなど10団体から手づくりの作品が提供されました。（1月13日）





川下小3年の葛西さんが 「国土緑化運動標語」で入選

(社)国土緑化推進機構が募集していた平成15年用の「国土緑化運動標語」として、川下小学校3年の葛西知紗都さんの作品が「入選」に選ばれました。標語作品は「ちきゅうにね みどりをたくさん あげようよ」で、道内の応募総数583点から審査された結果、260点の全国作品の中から道内ではただ一人、入選作品として選ばれたものです。なお1月20日には、全校児童を前に高橋教育長から葛西さんへ賞状が手渡されました。



年頭に誓いの挨拶 町主催の「新年交礼会」

田西会館を会場に町の主催で開かれた「新年交礼会」。会には約250人の各関係者が出席し、泉亭町長が「昨年は『美しいまち当別をみんなでつくる条例』を制定させていただき町民の方々への意識高揚を図ったが、今年はさらに環境に配慮したまちづくりの推進に努めたい。また近年、地方から日本を変えようとする考えが広まってきているが、当別は札幌に一番近く、幼稚園から大学までありJRや国道にも恵まれている町。今後は町の特徴を活かしながら、町民の力を結束させ、より高い評価をされるよう精進したい」など、新年の誓いの挨拶をしました。(1月4日)



左から加藤くん、下段くん、清水さん。

語学研修の高校生3人が町長を表敬訪問

昨年12月23日から18日間、米国に短期留学していた町内在住の高校生3人が1月10日、帰国挨拶に役場を訪れました。3人は、町が人材育成基金を活用し実施している「高校生の短期留学ホームステイ語学研修事業」に参加希望した中から選考され、米国ロサンゼルス郊外で英語学習や交流行事などを体験。参加者の清水佳織さん(蕨岱)、加藤正和くん(末広)、下段尚人くん(元町)は、ホームステイでの体験や生活習慣の違いなどについて報告、泉亭町長は「手紙やメールなどで、今後も交流を続けてください」と3人に話していました。



当別町と太美郵便局で 業務委託に伴う協定書を調印

町の事務の効率化と郵政事業との連携による地域住民サービスの向上を図るため1月22日、当別町と太美郵便局とで、町の戸籍謄本をはじめとする交付事務を同局に委託する協定書の調印式が行われました。これに伴い、JR石狩太美駅舎内にある役場太美出張所については3月末日で廃止し、出張所の全ての業務については4月から、同局と局内に開設する「役場行政サービスコーナー」にて取り扱うこととなります。詳しくは、「広報とうべつ3月号」にて掲載します。